秋号
たが
No.70
令和5年10月1日発行

十月から三月の祭事暦

十月

○古稀莚寿祭　十月十六日（月）
○神嘗祭遥拝　十月十七日（火）
○裏千家献茶式　十月二十一日（土）

十一月

○明治祭　十一月三日（金）
○金咲稲荷神社例祭　十一月八日（水）
○大宮祭　十一月十五日（水）
○新嘗祭　十一月二十三日（木）

十二月

○御煤払式　十二月二十日（水）
○大祓式　十二月三十一日（日）
○除夜祭　十二月三十一日（日）

一月

○歳旦祭　一月一日（月）
○元始祭　一月三日（水）
○古札焼納式　一月十五日（月）

二月

○節分祭　二月三日（土）
○紀元祭　二月十一日（日）
○天長祭　二月二十三日（金）

三月

○祈年祭　三月十七日（日）
○春季皇霊祭遥拝　三月二十日（水）

諸祭

○御日供祭
毎日午前七時より
○御朔日参り
元日を除く毎月朔日の午前七時より
○月次祭
元日を除く毎月一日・十五日・二十八日

九月 古例祭

九月九日 重陽（ちょうよう）の節句に九月古例祭が斎行されました。

九月古例祭は四月の古例大祭と対をなす当社最重儀の一つであります。

本年は多賀町芹谷・脇ヶ畑地区の河内より菅森金治郎氏が頭人として差し定められ、恙なくご奉仕頂きました。河内より頭人が選出されるのは約三十年ぶり。

少子高齢化が進む同地区において、頭人選びは困難を極めたようでありますが、全ての氏子地域より頭人を選出する事で古例祭が多賀町全体のお祭りとして成り立っているのではないかと思っております。

コロナ禍による規制を受けた三年間を経て、漸く今年は本来の形を取り戻すことが出来、沿道より大きな歓声が上がりました。

頭人

菅森（すがもり） 金治郎（きんじろう）

昭和26年9月21日生（満71歳）

多賀町役場勤務（昭和45年～平成24年）

前 多賀町選挙管理委員長

講社大祭（献幣使）

9月28日、多賀講員の家内安全・莚命長寿を祈願する講社大祭が斎行されました。
本年の献幣使は多賀講相楽連合会 会長 村城信隆氏にご奉仕いただきました。

講社大祭献幣使を奉仕して

多賀講相楽連合会　会長　村城（むらき）　信隆（のぶたか）

この度、全国多賀講講員の皆様を代表として、講員のご家族のお幸せと多賀大社の弥栄をお祈りさせていただきました。多賀講相楽連合会として大変名誉なことと存じます。また、ご奉仕にあたりましては多賀大社の講務部を始め皆々様のご支援のもと大役を務めることができましたことに感謝申し上げます。

私ども多賀講相楽連合会は精華町、木津川市、和束町、笠置町、南山城村の皆様方で、毎年合同参拝を実施しておりましたが、ここ二、三年はコロナ禍の影響で、多くの参拝希望者がありながら実現する事ができませんでした。講員の皆様方から「宮司様に京都木津川市にてご講演をお願いしては」との声が上がり、片岡秀和宮司様より「神道について」と題してご講演をいただきました。講員の皆様からは大変ご好評を博しました。

終わりに多賀大神様のご守護に感謝申し上げるとともに全国の多賀講員の皆様の益々のご多幸ご繁栄を祈念して御礼のご挨拶とさせていただきます。

令和４年献幣使奉仕風景

供奉者ご紹介

宮本　實氏
古川　晃氏
倉持　勝治氏
金辻　修氏
奥田　一心氏

新嘗祭（豊年講秋季大祭）

11月23日、一年の収穫を感謝する新嘗祭が斎行されます。当日、拝殿には豊年講員の献納による約五百俵の初穂米が積み上げられます。本年の豊年使は、愛知郡愛荘町の梅田満寿雄氏がご奉仕されます。

豊年講秋季大祭　豊年使を奉仕するにあたり

豊年使　梅田満寿雄（うめだまますお）

今年が最後の大世話係としての務めと決めていたところ、この度、豊年使の大役を受ける事となり大変驚いておりますが、誠心誠意ご奉仕させて頂きます。

多賀大社で結婚式を挙げてからは毎年の初詣、子・孫のお宮参り、七五三と節目節目には必ず、お多賀さんへお参りさせて頂いております。

家業を息子に引継いだ後は、日々何をすればと思っておりましたが、農業が私を引っ張り、今は日々忙しく農業に専念しております。私自身の農地は約一・五ヘクタールほどでありますが、昨今農家離れが多く地元地域で営農組合を立ち上げて、現在十二ヘクタールの農地を管理しております。

新嘗祭当日は、愛知川地区の世話係と共に、収穫の感謝と豊年講講員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

多賀講

永年世話係表彰

今後共かわらぬお力添えをお願い申し上げます。尚、現在登録の就任年月日より選出しております。

就任三十年世話係

郡上市　和田　忠治
東近江市　渡辺　康雄
米原市　長谷　善行
長浜市　三国　忠幸
近江八幡市　宮嶋　昭男
近江八幡市　宮村　茂道
木津川市　平島　健司
相楽郡　久保　弥
丹波篠山市　平野　正憲

就任二十年世話係

三方上中郡　吉田新治郎
一宮市　浅井不二夫
大垣市　山田　良幸
大垣市　三輪　久幸
飛騨市　沖田　真一
下呂市　中島　裕介
下呂市　長瀬　悦三
下呂市　中田　昌登
関市　長屋　金完
東近江市　藤原　啓子
東近江市　村井　忠雄
栗東市　宮城定右衛門
甲賀市　南　清
蒲生郡　太田　敏一
蒲生郡　村井　利雄
長浜市　八木　賢七
長浜市　雲出　達夫
長浜市　山口　慎五
長浜市　西村　正夫
近江八幡市　永福　重雄
近江八幡市　吉田　市郎
名張市　有岡　崇
伊賀市　塚本　千尋
宇治市　竹村　章治
長岡京市　山本　茂喜
京田辺市　松本　勉
京都市　戸倉　厳
丹波篠山市　野々口晋平
川辺郡　村山　興治

就任十年世話係

飯田市　矢澤　良尚
掛川市　岡本　正博
掛川市　髙橋　正吉
新城市　西谷　進
豊田市　平松　正吉
大垣市　古田　明美
羽島郡　堀場　武
加茂郡　多賀　哲也
関市　塚原　昌尚
海部郡　佐野　利美
東近江市　森　久子
彦根市　山田　昭夫
甲賀市　藤川　豊
甲賀市　前出　高志
甲賀市　森地　定續
近江八幡市　水　音治郎
東近江市　福井　捨夫
東近江市　太田　義久
米原市　赤堀　泰久
米原市　世森　正
米原市　田中　祐行
米原市　石河　勝美
米原市　大谷　章
長浜市　西山　貢
長浜市　平井　真
松阪市　萩原　成記
伊賀市　山菅　善文
伊勢市　山中　一孝
伊勢市　永井　一誠
木津川市　三桝　武男
交野市　辰川みね子
堺市　木寺　功
堺市　上野　惠司
丹波篠山市　安井　勝則
川辺郡　北浦　利和

（順不同・敬称略）

新任講長他役員・世話係ご紹介

美濃市　長縄さよ子
豊田市　鈴木　英臣
名古屋市　水野　素和
知多郡　坂口　嘉孝
下伊那郡　宮下　幸一
長浜市　保崎　尚栄
長浜市　片山　郁夫
彦根市　小林　秀則
不破郡　中村　美次
東近江市　山田　英樹
彦根市　山口　幸造
伊賀市　吉川　正記
津市　松本　利宣
東近江市　富永　繁紀
東近江市　善住　慎一
伊賀市　福田　正美
高山市　鴻巣　実
長浜市　山口　博文
甲賀市　田村　良秋
伊賀市　田中　武久
蒲生郡　木瀬　武三
甲賀市　河合　芳明
松阪市　前田　哲也
彦根市　尾本　吉史
愛知郡　川口　利造
岐阜市　金森　道郎
大府市　鷹羽　利幸
枚方市　清水　洋宣
不破郡　吉田　儀一
甲賀市　中嶋　稔
長浜市　加納　源生
大垣市　立花　正一
大垣市　谷口　哲夫
大垣市　杉口　忠実
彦根市　西村　義次
丹波篠山市　酒井　浩一
長浜市　中川　兼輔
木津川市　羽田　道子
敦賀市　林　省一
敦賀市　寺嶋　信二
東近江市　森井　源藏
鳥羽市　小寺　広次
長浜市　松島　清和
泉大津市　藤原　優光
東近江市　岸本　隆司
海津市　土方　弘男
東近江市　馬野　正義
三田市　森本　和明
近江八幡市　小林　三男
東浅井郡　細江　善彦
東近江市　河村　政仁
名古屋市　前田　忠永
丹波市　駒谷　誠
甲賀市　門　治
米原市　上津　和雄
加茂郡　塚本　嘉明
知多市　吉川　平一
長浜市　宮川　浩治
三方上中郡　野村　庄治
宝塚市　大上　修
名古屋市　深谷　浩彦
名古屋市　太田定治郎
津市　山口三千代
米原市　村上　泰治
長浜市　片岡　俊彦
丹波篠山市　井関　勝
彦根市　伊藤　岳夫
彦根市　平林　明
奈良市　奥西喜代照
東近江市　上川庄太郎
東近江市　小寺　孝治

（再任含む・敬称略）

（令和五年七月三十一日現在）

何卒よろしくお願いします。

コンビニやスマホ決済で、今年から講金が納められます
［本年度は神符直送の講員様に限ります］

令和４年１月より、ゆうちょ銀行・郵便局（窓口・ATM）にて現金での振込の場合に別途手数料（110円）が必要となりました。
昨年度は余計なご負担をおかけしましたが、この度振込用紙を一新し、納入方法の大きな改善を講じました。

額面や記載事項に **変更がない** 方
お振込方法は、以下のいずれかをお選びください

下段の振込用紙をご使用下さい

コンビニエンスストア
手数料 **無料**

スマホ決済
手数料 **無料**

銀行振込
振込手数料はご負担下さい

額面や記載事項に **変更がある** 方
ゆうちょ銀行・郵便局の窓口またはATMをご利用ください

上段の振込用紙をご使用下さい

変更やご連絡事項を余白にご記入

ゆうちょ銀行等
（窓口・ATM）

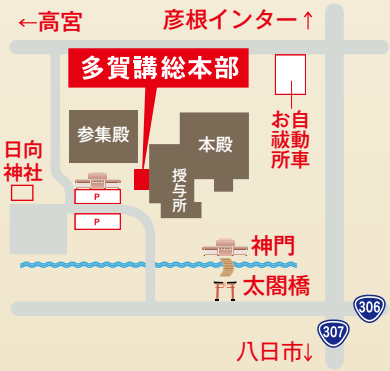
現金でのお振込の場合は別途手数料必要

※電信払込は、変更ありません

講員祈祷を受けませんか

多賀講員ならば、特別なご祈祷を受けられることをご存じでしたでしょうか。
欠かさずに月参りをされる方々、
息子さんの厄除祈願を併せて申し込まれる方、
４世帯揃ってお越しになる賑やかなご家族もあります。
お申込みは多賀講総本部にて、専任職員が随時承っていますので、
是非お立ち寄り下さい。
尚、祈祷料は 1,000 円以上のお志です。

【受付時間】
8：30～15：30



特別なお祭りに参列しませんか

●古例大祭（多賀まつり）
鎌倉時代から続く当社年間の最重儀。
40頭の馬が繰り出し、500名にも及ぶ絢爛豪華なお祭りです。講員様は本殿祭に参列ができます。
令和６年４月 22 日㈪
※8：15 までに授与所へお越し下さい

●講社大祭
毎月28日に多賀講月次祭にて、全国講員の家内安全・莚命長寿が祈られています。
９月28日は多賀講一番のご縁日です。
令和６年９月 28 日㈯
※10：30 までに参集殿へお越し下さい

変更が生じた際は、
ホームページにてお知らせします。
※QR コードから『お知らせ』のページへ →

ご献灯名簿

万灯祭ご献灯ありがとうございました

本年は神賑行事を再開し万灯祭を執り行いました。
多くのご献灯を頂き、三日間無事執り行うことが出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。
紙面の都合上、一万円以上のご献灯者名を掲載しております。
なお、戒名は申込者名で、連名は代表者名にしております。

（順不同・敬称略）

二万円灯

五灯

滋賀県
多賀町
多賀大社頭人会
彦根市
森野税理士事務所
㈱平和堂
茶木 利男
栗東市
㈱ＮＩＸＩＡ

三灯

愛知県
山本 守男

二灯

滋賀県
多賀町
㈱多賀組
大津市
瀬川 勝規
彦根市
㈱西澤工務店
㈱永昌堂
㈱伊藤組
彦根露店組合
㈱剛友製作所
近江鉄道㈱

愛知県
深谷 友子
髙見 勝俊

岡山県
灘崎㈱

石川県
中川 忠幸

一灯

滋賀県
多賀町
参天製薬㈱
四手氏子中
中野 幸彦
（一社）多賀観光協会
㈱木村重兵衛商店
久保田電気株式会
㈲多賀や
山本機工㈱
㈱ミヤジマ
多賀大社末広会
多賀大社氏子総代会
近江八幡市
矢掛工業
大津市
㈱内田組
草津市
アール電業
村岡通信建設㈱
甲賀市
山下 正好
小倉 泰史
甲良町
㈱一休庵
大幸生コン㈱
高島市
萬木 明子
豊郷町
㈱ニシヤマ
上田 達也
西山 利信
堀 恵
堀 常一
長浜市
下司 登
改田 一哉
寺村 正和
藤居 大暉
鈴木 治彦
東近江市
㈱和音 東近江塩元帥
古田 重樹
山本 昇
小池会
辻野 義美
彦根市
㈱イズミ
㈱伊勢幾
㈱一色製作所
㈱公益社
㈱清水鐵工所
㈱中栄
㈱田中家石材
㈱文教スタヂオ
フジテック㈱
伊藤石材店
一圓テクノス㈱
稲毛 友幸
共同電気㈱
近藤 摩人
三輪 和宏
山甚開発㈱
西川 傳一
西澤 政男
川瀬計理事務所
大平 ミチエ
藤村 紀子
片岡 秀和
木川 英樹
矢吹 敏明
㈲オフィスタニザワ
日野町
イヴカンパニー
米原市
河地 守
三軌工業㈱
中川 満雄
中田 喜雅
藤岡 儀一
鈴木 稔浩
栗東市
㈱アチーブメント
木下 裕也

埼玉県
㈱近江屋酒店

東京都
竹中 宗嗣
松井 京
今井 純子

神奈川県
新谷 庄司
木所 章
木所 与之
桒原 榮一
桒原 千恵美

石川県
奥野 いずみ
加藤 晴子
秋山 澄

福井県
寺島 進一郎
㈱武村鐵工所

山梨県
矢澤 千鶴
矢澤 貴光

岐阜県
加納 稔敬
田中社寺㈱
松野 守正
白木 昭
村瀬 サカエ
北川 精一
駒井 均
藤田 三蔵
桐山 勝司
㈱松井組
赤坂新町多賀講

静岡県
髙橋 正吉

愛知県
小澤 素生
神谷 髙雄
深谷 苑代
水野 淑子
近藤 小有里
灘崎㈱名古屋営業所
岸川 豊
市原 久子
永一産商㈱
坂野 絢子
伊藤 公子
近藤 弘之
伊東 忠彦
NPO法人 ワンプレサポート
粋商事㈱
深谷 実敬
岩根 峰樹
奥村 浩光
㈲ヤツルギ自動車
福地 博
しあわせのサンゴ
中野 修
二ノ宮 淳次
鷲見 幸治
鷲見 純子
鷲見 智惠子
山本 卓治
田村 公平

三重県
㈱葛牧工業
葛巻 洋子
安濃建設㈱
㈱神路社
㈲神公堂
㈱竹島建設

京都府
㈱カナザワコーポレーション
東和泰産㈱
㈱アイエムエー
神谷 優子

大阪府
サントリーホールディングス㈱
多賀 久恭
石神 忠明
㈱コーニッシュ
㈱コーニッシュクレスコ
㈱大阪農林会館
㈱ラインビルド
三協興産㈱
宮本 憲一
ハクキンカイロ㈱
中西運送㈱
旗埜 裕久
㈲インテリアトリイ
曽根崎 義基

兵庫県
近藤 正明
㈱エビスシマダ
葉山 惠子
山形 直樹

奈良県
西岡 和憲

香川県
毘沙門院 剛史

一万円灯

四灯

兵庫県
塩月 照代

広島県
井上 明美

三灯

群馬県
古澤 英彦

岐阜県
松下 利昭

愛知県
則竹 博

二灯

滋賀県
甲良町
㈱ボクシー
高島市
平井 佐千夫
豊郷町
㈱昌興
長浜市
アートインスズキ
南郷里柏寿会
山下 勇男
彦根市
田中 和夫
㈱伊藤組
㈱ムラカミ
㈱SCREEN-SPE
栗東市
林 嘉彦

神奈川県
山田 與行

岐阜県
㈲フセヤ塗装
㈲岐阜システム
古川 美幸

静岡県
佐野 隆司

愛知県
鈴木 英臣
近藤 種廣

大阪府
乗本 学

岡山県
寺山 泰生

一灯

滋賀県
多賀町
共栄社化学㈱
夏原 慶子
井上 尚世
上田 正義
久保 久良
三坊 直
森野 義和
城貝 忠信
川原 隆司
大辻 利信
安藤酒店
目加田 稔
㈲藤居製作所
尾谷 忠之
㈱木村重兵衛商店
大津屋
三木 治夫
久保田 真之
㈱滋賀銀行多賀支店
木村 克之
川岸 真喜
青竜オートサービス
古川 良治
古川 達弥
飯尾 淳一郎
飯尾 俊一
㈱コザイ工業
小財 喜雄
彦根急送㈱
㈱井樋
多賀㈱
㈱マルト
㈾翔
西墓 俊夫
愛荘町
川口 秀政
川口加工所
青木 幸市
㈱拓水
小川 志津
近江印刷㈱
山縣 和子
山縣 俊之
Beetle Grande
浦部 新太郎
藤野 翔平
近江八幡市
本間 小五郎
永田 良輝
加藤 博司
加藤 智子
白石 ミスエ
奥山 義雄
茶谷 長博
深井 幸一
深井 起代子
北川 善信
㈱大進
大津市
橋本 好弘
平山 勇太
バラセンスファウンディーション
原田 かづ枝
内田 美千男
境田 基広
野村 隆嗣
堀 雅明
辰巳 香澄
草津市
三輪 益三
西川 英雄
西川 婦美江
福井 安兵衛
中島 陽可壽
㈱メタルフィットルーツ石山
甲賀市
木村 緑
森地 茂樹
田口 富美男
林 素也
野田 君久
門坂 章次
㈱コスモ警備
甲良町
宮尾 茜直
上田 清雄
若林 嘉昭
桂田 剛司
桂田 誠一
湖南市
小西 充
橋本 亜佑美
隠塚 正彦
小倉 大藏
高島市
横井 貞雄
藤野 雲平
永野 繁男
永野トミエ
豊郷町
堤 陽一
市川 喜代次
西山繊維㈱
田中 芳子
雅商事㈱
とりやきサントリ食堂
長浜市
西村 嘉人
草野 浩一
大橋 元信
鈴木 政造
㈲セイファ
中嶋 喜代治
㈱かわ重
川崎 隆嗣
鈴木 茂
中川 寿子
藤井 恒夫
赤尾 栄司
草野 弘明
高津 章人
百匠屋
松村 文子
金子 勉
北川 新一
廣内 眞作
前田 稔
前田 厚子
北村 忠男
小﨑 明子
東近江市
大湖産業㈱
杉田 篤
辻 吉弘
河原﨑 智久
木下 義隆
井口 哲司
トミエ板金
森野 角男
井口 博史
脇 弘和
井口 結稀
森野 善一
㈱Only Product
荻田 さよ子
石垣畳店
上野 ひとみ
本池 香
廣瀬 傳治
岡村 巌
榎並 清次郎
植田 光男

ご献灯名簿

藤川 利夫
平岩 勝
村山 元
川嶋 照巳
谷 利和
吉井 藤太郎
辻 義一郎
㈲窓快工房共栄
深尾 忠一郎
野口 和哉
タカギ電設
津田畜産
井口 正司
今堀 敏仁
福永 信行
今堀 丈次
今堀 豊
今堀 九一郎
メール設計
㈱渡辺工務店
東野 圭吾
彦根市
堀口 敏明
中西 恭子
門脇公認会計士事務所
渡邊 幹雄
和菓子処さわ泉
小川 正己
中田 茂男
㈱北川鉄工所
寺沢 節男
㈱王本
釋尼妙法
東亜貨物㈱
北川 好枝
沼波 素子
赤堀 敏行
横山 満三
山口 之宏
松本 隆
田中 伸明
木村 康夫
辻 幸治
辻 緑
㈱千成亭風土
西川 宏
大谷 浩司

一圓 億夫
伏木 禮司
平井 治
㈲田中印刷所
中村 康則
中村 貴子
相川 努
続宗 憲一
松下 鐵治郎
松下 筆蔵
松下 つよ
赤木 章生
赤木 すゑ
松下 ます
大山 晴美
千田 次夫
gebera ジェルベラ
㈲サンキ技建
㈱エムズワン
㈲シャトー尾本
田中 進
矢田 喜代子
節分会 旧河瀬支部
上田 善治
西山 憲和
㈲藤塚時計店
若林 次郎
大和証券㈱彦根支店
清水 克己
㈱清友商会
塚本 武司
木村 泰造
木村 えり子
㈱シンセイ
清水 誠
ラークもみほぐし
岡野 嘉彦
上田 郁
宮本 堅治
田中電気設備管理事務所
文村 俊治
居川 外實
今村 英二
日野町
佐々木 敬一
樫野 賢一
荒川 和夫
道津 豊吉
星田 章夫
武本 藤治郎
奥野 幸治
米原市
cpサロンジャスミン

中川 佐多雄
吉田 健
井戸 知恵美
㈲景樹園
岩﨑 卓巳
藤本 英子
粕渕 行雄
細溝 文吾
鹿取 和幸
堀田 嘉広
髙木 しずを
大橋 進
笹木 孝子
西川 宏臣
守山市
杉江 周作
㈱エムハウス
福原 尊嗣
野洲市
北村 博子
藤井 利幸
藤井 礼子
深田 義廣
栗東市
田中 光子
川上工業㈱
川上 太郎
竜王町
川嶋 健市
松浦 増史

岩手県
本山 信一

宮城県
木田 真美

群馬県
㈱一千乃
利根西部運送㈱

埼玉県
川淵 健
川淵 由美子
中嶋 亨
東宮 實
出野 悦

千葉県
岡部 広光

東京都
永井 里佳
今井 勉

中村 孝
古田 昌彦
柴田 好子
堀江 清道
岩村 正代
樋口 裕太
永倉 多賀子
荒澤 志津子
小野 圭子
萩原 良幸
柳澤 里子
永曽 重光

神奈川県
岩田 和子
正津 和好
多賀 道子
中田 達治
中田 妙子
深谷 将
ISLAND81

新潟県
福嶋 伸也
田村 忠義
石坂 若葉
福井 浩一

富山県
柴野 裕一
柴野 文江

石川県
沢柳 健二
吉村 真
馬場 勝明
山下 京平
山下 友輔
中川 忠幸
大谷 千代子
坪内 ゆか
中川 信幸
秋山 鈴子
㈲辻石油店
神戸 能富子

福井県
中川 紀雄
髙橋 麗子

山梨県
かめや会
堀内 由美子

堀内 隼也
横張 奈々

長野県
青柳 智之
轟 速人
小日向 義夫
池田 美里
田畑 節子

岐阜県
横山 範道
影山 惺
影山 慶子
橋本 茂紀
服部 秀男
堀江 桂
田中 宏治
武田 久雄
武田 春江
㈱森ブロック
関谷 学
荒井 寛巨
後鳥 慎治
水谷 貴彦
橋本 幸夫
細野 利男
細野 毅
黒谷 信枝
髙橋 重吉
髙橋 憲子
林 眞太郎
船戸 秀晴
鳥本 哲夫
梅村 十三日
森 主税
深和 英生
篠田 仁徳
篠田 富子
景山 今夫
坂井 澄雄
酒井田 卦市
中村 良夫
霞 茂美
太田 弘一
田中 正道
田中 美代子
後藤 孝司
加藤 一巳
大橋 桂
武藤 喜美夫

武藤 裕惠
㈱一光開発
岡田 弘
岡田 芳弘
坂井田 みち子
坂井田 雅嗣
坂井田 智美
坂井田 凌雅
山北 武子
渡邊 江身子
岡崎 弘則
阿部 光正
岡部 章和
多和田 まゆみ
㈲太閤建設
安田 芳弘
河口 禮子
傍島 浩蔵
佐久間 勝義
堀田 利彦
目加田 智美
前田 勝治
川瀬 昇
山田 幸男
清水 泰幸
芳田 一美
伊藤 照雄
桐山 光明
服部 由明
林 正三
所 清子
谷 基彦
河瀬 三郎
樋口 孝之
樋口 ゆみ
内田 陽
牛嶋 和朗
香田 龍太朗
津田建巧㈱
若山 義昭
古瀧 恭子
嶋崎 良造
上村 惠宏
井戸 欽次
田口 信二
安藤 貴美恵
佐伯 砂登子
足立 宏
大前 英生
阿部 栄治
杉山 恒夫
細江 ミノル
中島 勝子

林 久雄
國嶋 昇
髙木 喜弘

静岡県
福島 誠
丸生養鰻
平井 優一朗
島澤 仁
小野 惠美子
小野 弘太郎
加藤 享子
榛葉 保
石山 進
原田 堅一
後藤 数馬
河口 禮子
傍島 浩蔵
佐久間 勝義
堀田 利彦
目加田 智美
前田 勝治
川瀬 昇
山田 幸男
清水 泰幸
芳田 一美
伊藤 照雄
桐山 光明
服部 由明
林 正三
所 清子
谷 基彦
河瀬 三郎
樋口 孝之
樋口 ゆみ
内田 陽
牛嶋 和朗
香田 龍太朗
津田建巧㈱
若山 義昭
古瀧 恭子
嶋崎 良造
上村 惠宏
井戸 欽次
田口 信二
安藤 貴美恵
佐伯 砂登子
足立 宏
大前 英生
阿部 栄治
杉山 恒夫
細江 ミノル
中島 勝子

愛知県
寺部 明子
中西 みち
大山 玲子
㈱ニデック
山田 安弘
山田 素子
長谷 光子
杉浦 嘉保
五十嵐 禎裕
神谷 光枝
鈴村 秀実
近藤 泰憲
太田 万紀子
杉野 みつ子
山口 力矢
阿部 達彦
水澤 方博
中島 暉夫
内田 陽
牛嶋 和朗
香田 龍太朗
津田建巧㈱
若山 義昭
古瀧 恭子
嶋崎 良造
上村 惠宏
井戸 欽次
田口 信二
安藤 貴美恵
佐伯 砂登子
足立 宏
大前 英生
阿部 栄治
杉山 恒夫
細江 ミノル
中島 勝子

石黒 満昭
㈱マルキ化成工業所
春日井 英将
後藤 竜二
近藤 章博
池野 良孝
深谷 みち子
加古 雅雄
小出 紀子
中野 玉代
中野 實
三浦 精一
都筑 乙良
北川 幸太郎
深川 八重子
深川 英明
林 鈴雄
柴田 厚子
菊池 武徳
前橋 保彦
小林 和代
山本 貴美子
吉田 昭江
吉田 弘一
山田 素子
長谷 光子
杉浦 嘉保
五十嵐 禎裕
神谷 光枝
鈴村 秀実
近藤 泰憲
太田 万紀子
杉野 みつ子
山口 力矢
阿部 達彦
水澤 方博
中島 暉夫
内田 陽
牛嶋 和朗
香田 龍太朗
津田建巧㈱
若山 義昭
古瀧 恭子
嶋崎 良造
上村 惠宏
井戸 欽次
田口 信二
安藤 貴美恵
佐伯 砂登子
足立 宏
大前 英生
阿部 栄治
杉山 恒夫
細江 ミノル
中島 勝子

児島 喜美子
竹市 巻子
河村 洋一
玉田 光利
國立 治己
國立 蔦子
淺野 正治
平野 博和
服部 宗彦
林 宏光
佐藤 博一
服部 鉄男
石原 義隆
伊藤 喜紀
神保 義之
㈱大智建設
太田 英茂
木下 節男
松村 宏造
加藤 肇
古田 孝之
鍋島 充志
伊藤 一三
川嵜 昌紀
伊藤 美喜雄
伊藤 義清
伊藤 輝男
伊藤 勝視
藤井 保之
中川 廣子
山本 香朶
山本 茂人
伊藤 勉
石川 欣志
鈴木 美知代
中野 秀明

三重県
花井 勇夫
冨田 昌孝
いつみや木工
若松 芳弘
岩﨑 悠
島子 規子
後藤 隆之
木村 八重子
小泉 邦也
大西 良和
大西 京子
宇陀 清隆
伊勢国産(資)
岩﨑 ちがや
市川 誠郎

山口 傑

京都府
小野 正義
京都奉製㈱
㈱青山豆十本舗
垣見 和敏
片岡 裕貴
田中 政行
村城 信隆

大阪府
㈱豊食品店
西尾 正彦
西尾 和子
㈱コムイン
ヨシダ印刷㈱
吉田 成男
多賀 義高
藤田 康宏
江島 史朗
江島 毅
西 慧
成田 佳子
成田 夏来
嶋川 正夫
北浦 康雄
中田 稔子
中谷 翼
乗本 達子
阪本 翔利
道明寺
奥一夫
ダイワ工業㈱
森 克良
中嶋 博子
木村 俊子
木村 光里

兵庫県
山本 浩子
㈱T2アーキテクト
服部 慶子
住友 修
米谷 登
田中 潤平
長谷川 博之

奈良県
田原 芳子
小林 隆男
後 明果

和歌山県
小鯖 恵

島根県
因原神楽団

岡山県
内田 雄大
内田 照子
寺山 美代子
吉岡 啓次
白神 隆義

広島県
中津 桃子

徳島県
坂本 実
坂本 朱美

香川県
毘沙門院 野上建設㈱
須崎 義雄

福岡県
河野 隆
多賀 瑞祥
宮﨑 チヅヨ

佐賀県
川原 信幸

宮崎県
大脇 健宏

沖縄県
山本 林
山本 多万江

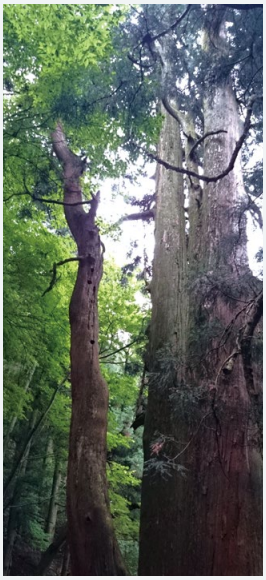
聖なる草木でバトンタッチ

皇學館大学　名誉教授　櫻井　治男

お多賀さんの春祭り「古例大祭」で、印象深い光景に出会ったことがいつまでも脳裏に焼き付いている。芹川の上流、調宮（ととのみや）神社の鎮座する栗栖集落へ向かう祭礼行列の後を追っていて、長い担ぎ棒のついた台車に載る太鼓（a）を引き回す氏子の方々の掛け声を聞きながら見つけた、さりげなく咲き誇る山吹の姿である。

（a）栗栖の太鼓台

周囲の木々が新緑の盛りを迎える準備の頃で、一重咲きの黄金色はひときわ映え、自然豊かなかで行われる、のどかな祭りの雰囲気を更に高めているようであった。



（b）杉坂之神木

お多賀さんと植物との関係といえば、柏葉はもとより、三か所の神木と一本の「命の木」は見逃せない。それらは、①杉坂之神木（b）、②田中明神の神木、③飯守（いいもり）（盛）木（c）、そして④調宮神社の神木「桂」で、いずれもご鎮座の由緒や当社祭礼と深く結びついた場であり木々である。

『多賀大社儀軌』（『多賀大社叢書　記録編一』）によれば、それぞれ次のような伝承をもっている。①は多賀大神の一柱、伊弉諾尊（伊邪那岐大神）が老翁の姿に身をやつし当地に影向された時、畑仕事をしていた「山人」が粟の飯を柏葉にのせ献上したところ、大神はその志を嘉納され、使ったお箸をその場に突き立てられた。それが成長したのが杉坂のご神木である。②も同じく大神影向の場所で、青々としていた早苗が一夜に化して杉の森になった地、ご本社のことで「田中明神」と申し上げる。ここの杉は真っすぐで、常に青々としているというから「常若」の社叢と評せよう。タカの地名語源が、「高い」という土地形状ではなく、田のカ（＝所）との説が腑に落ちる点でもある。

（c）飯守（盛）木

③の「飯守木」は「打ち込みの馬場」（尼子のお旅所）近くにあるご神木で、『儀軌』には地域の人々が集まってこの木は、ムク（椋）なのかエノキ（榎）なのかを議論したといい、十二本の木々が後々一本になったとある。この木に大神が常に降臨し「遊び給う」と伝えられ、大飯守木・小飯守木があるとする。

①と③の神木の存在は、山と里、畑地と田圃、杉と椋（榎）というように構造的に二項相対の状況を示しており、それを②の森、すなわちご本社が結び統合しているとみられる。③の樹種にまつわる議論譚の存在は、この地が二つの異なるコミュニティーの「神聖な境界」で、そこに鎮まる神木の性格上「どちらつかず」となる故からともいえる。

(d) 神輿の飾り

さて、④であるが、春祭りでは、杉坂の麓、大神が山から里へと遷幸された転換地の調宮境内の古木「桂」の若枝が、神輿の飾り（d）や神職・供奉者の挿頭（かざし）となり、身にも着けられる。この都市バージョンが、葵祭（上下賀茂神社）・松尾祭（松尾大社）にみられる葵桂の姿である。

お多賀さんでは、この桂の神枝はさらに重要な役割を担っている。それは、「打ち込みの馬場」で、宮司より二人のトウニン（御使殿・馬頭人）に渡される（e）「富の木」となってである。長い細竹の先に付けられた小枝が馬上で授受される様子は、ドキドキモノであるが、滞りなく終わると安堵し緊張感が解放される。

「富の木」について先学は、「早苗のことを神事では富草と呼ぶのとひとしく、豊饒のご神徳のこもった小枝」（『多賀信仰』昭和六一年、多賀大社、六頁）と指摘された。まさにお米作りの大切な役割が、神木の若枝を介して大神から「お多賀さんコミュニティー」を代表する方々へバトンタッチされたことを意味しよう。

ところで、社会が大切な役割をつなぐとき、聖なる品々が授受される例は洋の東西にみられる事象である。英国の王位継承時の冠・宝珠・王笏といったレガリア、日本では天皇陛下ご即位時の「剣璽等承継の儀」における伝来のお品のように国家レベルの場面がある。また、目を地域社会に転ずれば、神社祭礼やトウヤ制度の残る祭祀の場がそうとなる。

伊勢の神宮では、かつて神職の最上位であった一の禰宜（長官という）が新任されると、その人は「神代より伝来の神器」という「釜」を受け継ぐ慣習であったという（松木素彦『詞林往来』昭和四五年、神宮司庁）。道具だけではない。黒箱・宝箱・玉手箱等と呼ばれる古文書を収めた容器類、海辺では、焼魚二尾を次の祭礼当番へ渡す例（尾鷲市）もある。

(e) 富の木渡し

そうした中で、近畿地方の祭礼、宮座行事の中には、ご神饌の豆や冬瓜（とうがん）、鶏頭（けいとう）の花の種という例がある（吉川雅章『宮座儀礼と「特殊神饌」』（令和三年、弘文堂）。鮮やかな鶏頭花がトウヤ引継ぎ式の場に登場する名張市丈六の八幡神社秋祭（f）を拝見した時も、印象深いものがあった。

渡され花は質感が立派で、トウヤに就くと枯らさないように何本かを選び、日傘を差し掛けるなど大切に育てて、祭りの場で披露される。鶏頭は食用ではないが、この花や種を引き継ぐ例は他にもある。ただし、なぜ鶏頭なのかの答えを筆者は持っていない。

(f) 秋祭りの鶏頭花

しかしながら、毎年芽吹くお多賀さんの「富の木」、花咲く「鶏頭」は、いずれも実用とは隔たったバトンであるが、祭りを通して繰り返し継承される伝統文化の「命」を表象する「聖なる草木」という共通点は指摘できよう。

皇學館大学名誉教授
櫻井　治男（さくらい　はるお）
昭和24年京都府生まれ
同48年皇學館大学大学院文学研究科修士課程修了
専門は宗教学・宗教社会学・神社祭祀研究
平成30年　第28回南方熊楠賞（人文の部）受賞

能面「獅子口」奉納

この度、能楽師の大倉正之助氏より、能面作家である伊庭貞一氏作の能面「獅子口」のご奉納を頂きました。

大倉正之助氏は令和五年一月八日、当社能舞殿において、自身が主宰する飛天双〇能（ひてんふたわのう）を茂山千三郎氏、上野朝義氏を始めとして、数十名の演者によりご奉納されました。

飛天双〇能は現代から未来に日本の伝統文化をつなげていく事を目的として、日本各地の野外舞台にて一年に一回ずつ、十二年をかけて能を奉納していく事業であり、当社での奉納が記念すべき第一回目となりました。

新授与品「むすび絵馬」

今春より、新たに「むすび絵馬」の授与を始めました。

お多賀さんは、古来より良きご縁を結ぶ「えんむすび」のご利益が伝えられております。

今回の絵馬はピンクとブルーのハート型をあしらった愛らしい二種類の絵馬。お願いごとを書き込み、境内に新設された朱塗絵馬掛けにご奉納下さい。

「むすび絵馬」を通じて、良きご縁が結ばれます事をご祈念申し上げます。

初穂料　五〇〇円

「多賀スマートIC」下り線開通

平成三十年から建設が進められております「多賀スマートIC」は下り線のみ四月に開通しました。上り線は現在工事中の為、全面開通まではあと二～三年掛かる見込みです。多賀スマートICから多賀大社までの道のりは僅か一㎞程と参拝者には大変便利になりました。特に、お正月期間中の岐阜・愛知方面からの参拝者にとりましては彦根インターからの渋滞緩和に繋がるのではと期待しております。

人事

採用

【出　仕】長谷　学
（令和五年三月二十一日付）

【舞女兼事務員】上田　真羽
（令和五年　三月十五日付）

【舞女兼事務員】舟越　風花
（令和五年　三月十五日付）

退職

【権　禰　宜】奥　隆栄
（令和五年八月三十一日付）

【舞女兼事務員】西澤　杏
（令和五年　三月三十日付）

【舞女兼事務員】今西　七海
（令和五年　三月三十日付）

月参りの証

この度、月参りの証（手帳）が新しくなりました。これに伴い、いま一度、月参りの証の扱いについてお知らせします。

①月参りの押印は、参拝者ご本人のみ

②手帳をお忘れの場合、ご本人の参拝に限り翌月以降でも押印出来ます

③手帳の発行は一名に対し一冊

皆さまのご理解・ご協力お願い申し上げます。

新規月参りの証を発行希望の方は授与所にてお問い合わせ下さい。

尚、満願時にお渡ししておりました満願証は手帳への満願印（写真掲載）をもって代えさせて頂く事となりました。

防雪カーテン

雪の少ない冬を過ごす事が出来れば良いのですが、多賀の地は例年数回大雪に見舞われます。その際、ご祈祷後の本殿廻りは回廊に雪が吹き込み、お参り出来ない日があります。この事は以前からの懸案事項でもあった為、冬場の防寒と雪の吹き込み対策としてビニールカーテンを取り付けます。

防雪カーテンにより、大雪の日でも皆様には安心、快適に本殿廻りを行なって頂けます。

七・五・三のご案内

お子様の成長をお祝いし感謝する七五三。
千歳飴を始め、選べるおもちゃを用意してお待ちしております。
ご家族お揃いにてお参り下さい。

■令和５年七五三まいり

祝い年	対象	数え年	満年齢
３歳	男の子 女の子	令和３年生	令和２年生
５歳	男の子	平成31年生 令和元年生	平成30年生
７歳	女の子	平成29年生	平成28年生

※数え年、満年齢どちらでも承ります。

■ご祈祷料

	拝殿一般祈祷	本殿特別祈祷
１人	5,000円	10,000円
２人	8,000円	13,000円
３人	10,000円	15,000円

２・３人の場合はきょうだいに限ります
毎日９時～16時随時受付

お多賀さんへ初詣

三年を超えるコロナ禍も落ち着きを見せ
漸く明るい社会へ反転する年を迎えようとしております。
来年の甲辰（きのえたつ）年は成果という芽が成長していき、
形を整えていくという意味合いがあると言われています。
「禍も三年経てば用に立つ」
崇敬者の皆様には無駄な三年間であったと思わず、
コロナ禍の中で苦しみ、努力した事が
形となり芽吹く年となります事をお祈り申し上げます。

えと張子	￥1,000
首振りえと張子	￥1,500
紅鏑矢（べにかぶらや）	￥2,000
烏鏑矢（からすかぶらや）	￥2,000
守護矢	￥1,000
えと鈴	￥1,000
四色えと鈴	￥800
熊手（特大）	￥10,000
熊手（大）	￥5,000
熊手（中）	￥3,000
熊手（小）	￥2,000

編集後記

最近、チャットGPTという言葉を良く耳にしませんか？
これは、ユーザーが質問した事に対して、AI（人工知能）が対話形式で答えてくれるインターネット上のサービス。我々が投げかけた単語や文章の続きを予測し、結果として質問や要望に答えているかのような文章を生成するという仕組。つまり、答えを出しているのでは無く、インターネット上の膨大な情報の中から確率の高い単語を繋ぎ合わせている為、すべてが正しいという訳ではない。それでも、上手に利用すれば、仕事だけでなく、日常生活でも様々な事を教えてくれる大変便利なサービスだとか。
困った時は神頼みならぬチャットGPTとなる時代が来るのでしょうか。

多賀大社
〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 604
tel.0749-48-1101　fax.0749-48-1105
info@tagataisya.or.jp
多賀大社 検索
http://www.tagataisya.or.jp
@tagataisya.official
@tagataisya